

科目ナンバー： 研究・CNS：MB1033／助産：MmB1033

授業コード： 6620000300

講義科目名称： 臨床薬理学

英文科目名称： Clinical Pharmacology

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	2単位	選択 CNS必修 助産師必修
担当教員			
◎石田和子、常盤洋子、小長谷百絵、大林恭子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎石田 和子	新潟県立看護大学	317	kazukoi@niigata-cn.ac.jp
	常盤 洋子	同上	320	yotokiwa@niigata-cn.ac.jp
	小長谷 百絵	同上	213	konagaya@niigata-cn.ac.jp
	大林恭子	高崎健康福祉大学 薬学部教授		
	【本学の科目区分】 共通基盤分野			
		【DP1】	【DP2】	【DP3】
	研究		○	
	CNS	◎		○
	助産	◎	○	

到達目標	<p>1. ケアとキュアの融合による高度な看護学の知識・技術を駆使して、対象の治療・療養過程の全般を管理・実践するための基盤となる知識・技術について述べるができる。</p> <p>2. 緊急応急処置、薬物動態と薬力学、処方上の留意点と服薬指導、症状調整、慢性疾患管理に必要な薬剤を中心に、高度実践看護師としての看護の視点で、薬剤使用の判断、投与後の患者モニタリング、生活調整、回復力の促進、患者の服薬管理について説明できる。</p>
------	--

授業概要	臨床薬理学の総論的事柄、代表的な病態や徴候・症状に用いられる薬剤について、オムニバス方式で講義を行う。最後に事例をとりあげ、看護の立場から服薬管理に関するディスカッションを行う。
------	---

授業計画	<p>1 授業内容          授業形態：講義          学修課題：臨床薬理学の基礎・総論①薬物動態と薬力学          学修内容：①生体に対する薬物の作用のしくみ（機序）          ②受容体理論と用量反応曲線          事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。          事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。          備考：大林</p> <p>2 授業内容          授業形態：講義          学修課題：臨床薬理学の基礎・総論 ②薬物処方上の留意点と調整          患者への薬物処方内容と量の決定条件          学修内容：①薬物の吸収・体内分布・代謝・排泄と血中濃度との関係          ②①を踏まえた処方上の留意点と処方内容          事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。          事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。          備考：大林</p> <p>3 授業内容          授業形態：講義          学修課題：臨床薬理学の基礎・総論③注意すべき副作用と相互作用          学修内容：特徴的な有害作用について解説し、多剤併用との関連          事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。          事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。          備考：大林</p> <p>4 授業内容          授業形態：講義          学修課題：臨床薬理学の基礎・総論④薬物の与薬と服薬管理          学修内容：主な病態における薬物の体内動態の特徴を解説し、薬理作用の変化          事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。          事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。          備考：大林</p> <p>5 授業内容</p>
------	--

6	<p>授業形態：講義  学修課題：臨床薬理学の基礎・各論①循環・呼吸器系の薬剤  学修内容：①高血圧・虚血性心疾患の病態に基づく治療薬の科学的根拠  ②心不全の病態、急性心不全、慢性心不全の治療方針・治療目標、治療薬の理論的背景  ③閉塞性肺疾患の病態に基づき、治療薬の科学的根拠、作用機序、治療薬の選択</p> <p>事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。  事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。  備考：大林</p> <p>授業内容  授業形態：講義  学修課題：臨床薬理学の基礎・各論②感染症の薬剤  学修内容：①感染症の病態に基づき、治療薬の科学的根拠  ②肺炎などの治療薬の科学的根拠、作用機序、治療薬の選択</p> <p>事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。  事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。  備考：大林</p>
7	<p>授業内容  授業形態：講義  学修課題：臨床薬理学の基礎・各論③代謝異常と薬剤  学修内容：各代謝障害とその弊害、治療薬の科学的根拠、治療方針、目標</p> <p>事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。  事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。  備考：大林</p>
8	<p>授業内容  授業形態：講義  学修課題：臨床薬理学の基礎・各論④腫瘍と薬物療法  学修内容：悪性腫瘍と抗腫瘍薬</p> <p>事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。  事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。  備考：大林</p>
9	<p>授業内容  授業形態：講義  学修課題：臨床薬理学の基礎・各論⑤腫瘍薬物療法の有害事象  学修内容：抗腫瘍薬・主な種類と作用機序、適応、有害作用</p> <p>事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。  事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。  備考：大林</p>
10	<p>授業内容  授業形態：講義  学修課題：徴候・症状と薬剤①疼痛-1 痛みの診断と鎮痛薬の選択と適用  学修内容：①オピオイド鎮痛薬の基本的作用機序  ②オピオイド鎮痛薬以外の薬剤の基本的作用機序</p> <p>事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。  事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。  備考：大林</p>
11	<p>授業内容  授業形態：講義  学修課題：徴候・症状と薬剤 ②疼痛-2 鎮痛薬の病態下での適応と患者への副作用説明  学修内容：①オピオイド鎮痛薬の臨床応用としての疼痛管理  ②オピオイド鎮痛薬以外の薬剤についての疼痛管理  ③オピオイドローテーションおよび副作用</p> <p>事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。  事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。  備考：大林</p>
12	<p>授業内容  授業形態：講義  学修課題：徴候・症状と薬剤③神経症状  学修内容：各疾患の神経病理学的背景と、治療薬の作用機序、有害作用、長期使用上の問題点</p> <p>事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。  事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。  備考：大林</p>
13	<p>授業内容  授業形態：講義  学修課題：徴候・症状と薬剤④精神症状  学修内容：各精神症状と、治療薬の作用機序、有害作用、長期使用上の問題点</p> <p>事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。  事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。  備考：大林</p>
14	<p>授業内容  授業形態：講義  学修課題：徴候・症状と薬剤⑤消化器症状  学修内容：消化器症状の背景となる病態、治療薬の科学的根拠、作用機序</p> <p>事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。  事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。  備考：大林</p>
15	<p>授業内容  授業形態：講義  学修課題：徴候・症状と薬剤⑥腎・泌尿器症状  学修内容：腎・泌尿器症状の背景となる病態、治療薬の科学的根拠、作用機序</p>

	<p>事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。        事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。        備考：大林</p> <p>16        授業内容        授業形態：講義        学修課題：周産期医療と薬剤        学修内容：妊娠と薬剤（催奇形性）、授乳と薬剤（母乳への移行性）、        妊娠高血圧・妊娠中毒症の治療薬剤、早産防止剤・分娩促進剤        新生児黄疸と薬剤、新生児脳出血予防薬剤</p> <p>事前課題：事前に配布された授業資料を読み、疑問点をまとめる。        事後課題：授業で理解が不十分であった内容について調べる。        備考：大林</p> <p>17        授業内容        授業形態：演習        学修課題：事例検討（発表）        学修内容：学んだことを系統的に事例に適応させ、高度実践看護師あるいは助産師としての        視点で検討する。        事前課題：指定課題についてプレゼンテーション資料を作成する。        事後課題：ディスカッションをもとにプレゼンテーション資料を修正する。        備考：石田、常盤、小長谷</p>
事前・事後学習	授業計画参照
評価方法、評価基準	到達目標1～2に対し、レポート 50%、ディスカッションへの参加状況 30%、プレゼンテーション 20%により評価する。
テキスト	最新の文献を使用するため、教科書は指定せず授業内で案内する。
参考図書・資料等	参考書および文献はその都度紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	授業計画の詳細については、どこかで通知する。 最終回の事例検討では、事前に資料を作成し、受講生と教員の分の資料を持参する。 ※第16回は助産師コースの学生が受講する授業回であるため、他の学生は受講する必要はない。
教員からのメッセージ	授業への積極的な参加を期待する。
オフィスアワー	石田、常盤が窓口となり対応する。事前にメールで連絡する。